

がん検診 知っておきたいこと

★がんは死亡原因の第一位

日本では生涯に **2人に1人** が **がん** にかかる
と推計されています。がん検診で早期発見・早期治療！！

健康と安心のために
がん検診を受けましょう

★がん検診の目的

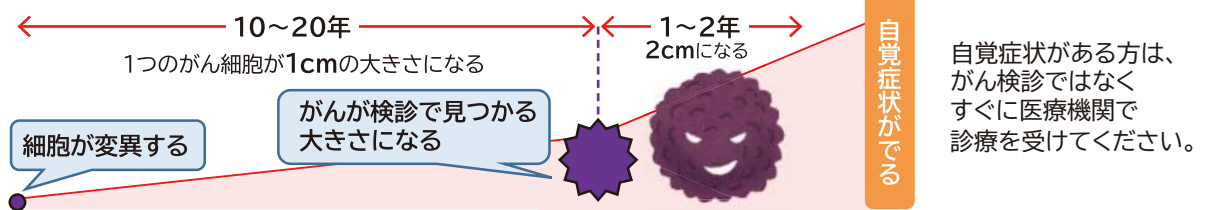
がんを無症状のうちに早期発見・早期治療し、
がんで亡くなることを防ぐことです。
早期発見できれば治せる可能性が高く、
治療も軽くすむことが多いです。

★検診は症状のない人が対象

自覚症状がある場合は、すぐに医療機関で診療を受けましょう。
すでに症状がある人は保険診療となり、がん検診は対象外になります。

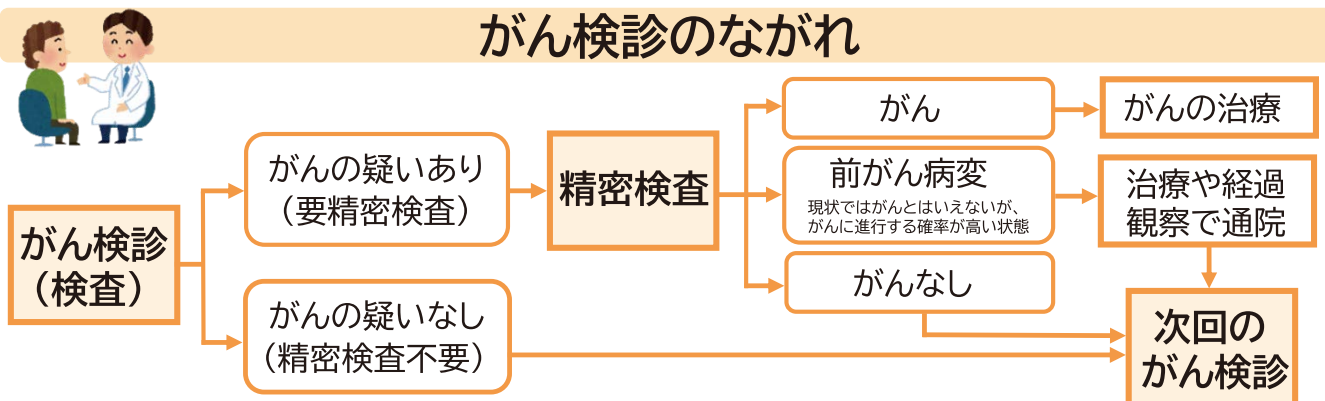
★定期的な検診が、がんの**早期発見**につながります

がんの進行と自覚症状が出るまで



参考：文部科学省「がん教育推進のための補助教材」

がん検診のながれ



要精密検査と判定された方

がん検診を受けて、「要精密検査」と言われたら、精密検査を受ける必要があります。自覚症状がないがんもありますので
自覚症状がなくてもすぐに医療機関を受診しましょう。(検査料、治療費は保険診療扱いとなり、料金が必要となります。)

精密検査医療機関 ⇒⇒⇒ **三重県がん検診精密検査登録医療機関** **検索**

<https://www.pref.mie.lg.jp/KENKOT/HP/000118956.htm>



がん検診の4つの注意事項

- すでに症状のある人は、
すぐに医療機関を受診**
すでに気になる自覚症状がある人は、がん検診を受けるのではなく、すぐに医療機関で診療を受けてください。
- すぐに医療機関で
精密検査を受けること**
がん検診の結果、「要精密検査」となった場合は、必ずすぐに医療機関で精密検査を受けてください。その際は検診結果をお持ちください。
- 繰り返しがん検診を
受けること**
がんは1回の検診で見つからないこともありますので、適切な間隔で検診を繰り返し受けることが大事です。
- 症状が現れたら
すぐに医療機関へ**
検診結果に異常がなくても、検診の後に何らかの症状が現れたら、次の検診まで待たずにすぐに医療機関で診療を受けてください。

★受診間隔については検診医にご相談ください。

検診のメリット・デメリット

がん検診の最大の利益(メリット)は、
早期発見・早期治療により命を守ることが
できることです。

一方で下記のような不利益(デメリット)もあります。

- ・がんの大きさや種類などによっては見つけづら
いことがあり、100%がんが見つかるわけではありま
せん。(偽陰性)
- ・がんがないにも関わらず、がんがあるかもしれ
ないと診断されることがあります。(偽陽性)
- ・生命に影響しないがんが発見され、治療される
場合があります。(過剰診断)
- ・検診や精密検査での医療行為に
よる合併症が起こる場合があり
ます。(偶発症)

